

人生を輝かせる山登りのススメ(第15回)

おもしろ山名を探せ！＜難読山名＞

2016.09.29

地図や登山のガイドブックを見ていると、不思議な山名を見ることがよくあります。今回は面白い山の名前から、普通には絶対に読めない難読山名を、その由来や伝説とともに紹介します。

『日本書紀』にも登場する歴史ある名前、後方羊蹄山



富士山と見間違えるほど美しい形の後方羊蹄山
(撮影=秋原浩司)

おなじみ、「日本百名山」の中にもどのように読むのか、悩まされる山がいくつかあります。その筆頭は富士山そっくりの形をしていて蝦夷(えぞ)富士とも呼ばれる後方羊蹄山(北海道、1898m)。普通に読めば「こうほうようていざん」ですが、これは「しりべしやま」と読みます。北海道に多いアイヌ語由来の山名かと思いきや、「後方羊蹄」という名は『日本書紀』にも載っていて(この山のことであるかは不明)、日本語由来だというから驚きです。「後方」は漢字の通り「後ろの方」で「しり」、「羊蹄」は植物のギンギシのことだそう。ギンギシは「シ」ともいわれて、これが後方(しりへ)羊蹄(し)となったといえます。最近では「後方」を略して「羊蹄山(ようていざん)」と呼ばれるようになりました。

わざと読みづらくしたでしょ？ 皇海山… 続きを読む